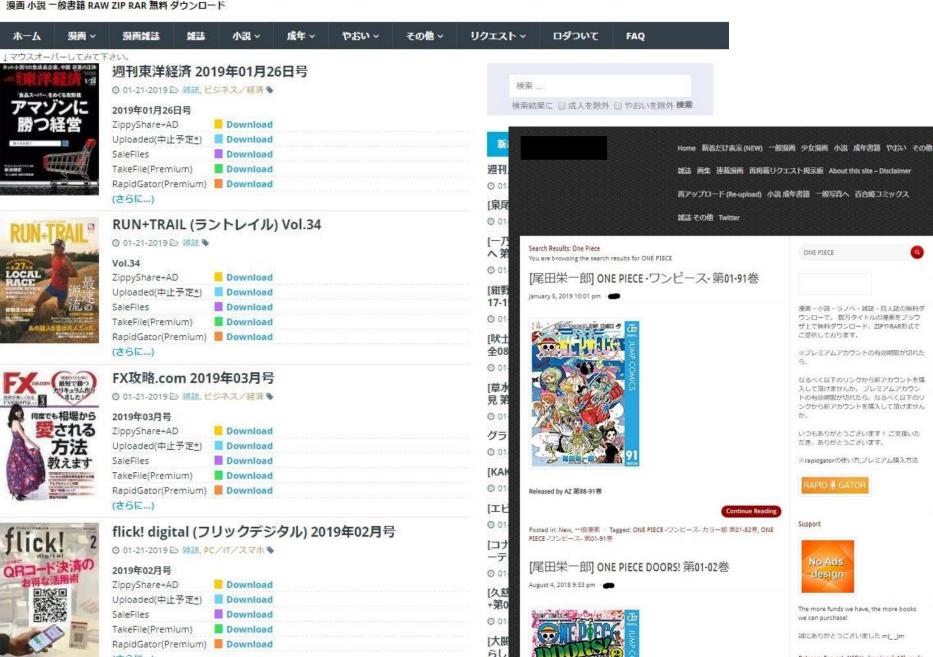
「リーチサイト」を中心とする ダウンロード型海賊版サイトの 現状と被害

※リーチサイトとは、海賊版がダウンロードできるリンクを多数掲載したサイト リーチサイトでは海賊版は読めない(ファイルを蔵置していない)

出版広報センター

漫画 小説 一般書籍 RAW ZIP RAR 無料 ダウンロード

(さらに...)



@ 01

Patreon: Fan-art, NSFW, drawings(+18), nude

リーチサイトを利用して海賊版ファイルを ダウンロードする方法

リーチサイト



(0)海賊版ファイルをアップロード





(5)報酬

サイバーロッカー



(2)URLを入手

(1)自分の読みたい作品を探す

(3)ダウン ロードを リクエスト

(4)海賊版ファイル をダウンロード



海賊版ユーザー

被害は甚大

- 主流はダウンロード型
 - →「FreeBooks」「漫画村」登場以前、そして閉鎖後において、日本の海賊版サイトの主流はダウンロード型
- ダウンロード型9サイトがTOP10入り
 →2018年夏調査。アクセス数上位10の海賊版サイトのうち9つがダウンロード型
- その9サイトの月間訪問者数は計1億人
 → (参考) 漫画村が最大1億7000万人/月
- 多様な作品、膨大なファイル数 →マンガだけでなく、小説、雑誌、写真集、実用書など多様。大手リーチサイト には、6000から1万の作品、ファイルにすると2万から5万が掲載されている
- 被害額は基大
 →日本最大級のリーチサイト「はるか夢の址」の被害額は最大731億円 (ACCS試算)

対策が困難

• 合法性を主張

→確信犯的なリーチサイトの運営者は、自らのサイトに海賊版ファイルがアップ されてないことを理由に、サイトの閉鎖に応じない

• 広告抑制が効かない

→出版物のリーチサイトの主な収益源は、海賊版ファイルの蔵置先であるサイバーロッカーからのアフィリエイト

• 費用と手間をかけて大量削除

→サイバーロッカーは削除に応じるので侵害対策会社や個社で削除要請を長年実施。直近では出版社連合で年間約66万ファイル

- 自動化された再アップロードシステム

 →サイバーロッカーと大手リーチサイトは水面下で協力。削除されても、自動的に再アップロードされる仕組み。常に海賊版がダウンロードできる状態
- •年間200サイトを閉鎖に追い込むも...

→削除要請だけではなく、サーバーやドメイン会社へ警告書送付等を実施。年間 200サイトを閉鎖に追い込むもドメイン移転や新規サイトの出現で撲滅はかなわず

法改正の有効性~2つの観点から

①運営者への抑止→リーチサイト規制

- 「はるか夢の址」の裁判でも、運営者たちは繰り返し「迷惑をかけている自覚はあったが、違 法ではないので運営を継続した」と主張
- 明確に違法となることで抑止力が生じる
- 発信者情報開示請求やフィルタリング、セキュリティソフトの対象となるためには、法律という明確な根拠が必須
- 「はるか夢の址」事件のように現行法だと、アップロードした事実を丹念に立証する必要があり、捜査機関・権利者に非協力的な海外のサービスに海賊版がアップされている以上、非常に困難。リーチサイトを運営している事実のみで対応できれば、刑事・民事両面で容易になる

②確信犯的海賊版ユーザーの抑止→ダウンロード違法化・刑罰化

- 残念ながらネットコミュニティには「割れ」という考え方があり、コンテンツを正規に購入する人間を「購入厨」と蔑んでいる。「はるか夢の址」の運営者は、そういう「割れ」からの賛辞(作品のリクエスト含む)とダウンロード行為を励みとして、サイトを運営し続けたとも証言している
- 海賊版のヘビーユーザーともなると数十万ものファイルをダウンロードしていたケースも

「表現の自由」こそ、マンガを含めた文化資産を 生み出す最も重要な土壌。萎縮させない運用で

- 膨大な数のリンクを掲載し、再アップロードを繰り返す「リーチサイト」を抑え 込みたい
- 確信犯的に海賊版をダウンロードしているユーザーの抑止



←今も運営中のリーチサイト の掲示板での書き込み。出版 社が削除要請を送り削除され た海賊版ファイルの再アップ ロードをリーチサイト運営者 にリクエストしている

ABJマークの制定・運用

→正規版サービスであることを明示するため、2018年11月より、運用開始。SNSや 全国紙5紙で広報展開も。すでに400以上の電子書店、出版社のサービスが申請、 順次掲示。正規版サービスで安心、安全に読書してもらえる体制が整った



STØP! 海賊版

あなたの協力が必要です。

漫画を愛するあなた、 いつものサイトに